

台秤 操作マニュアル

1. 台秤のボタンおよび各種表示の説明



本説明書に記載しているボタンの各番号は、上の図に対応しております。

■ ボタンの名称

- ① 電源 OFF ボタン
- ② 電源 ON ボタン
- ③ 累計登録ボタン
- ④ 累計確認ボタン
- ⑤ 風袋引き設定ボタン
- ⑥ 上ボタン
- ⑦ ゼロ設定ボタン

■ 表示設定の意味

A : 電池残量表示 (30%以下になると告知)

S : 重量が安定したことを告知する

2. 電源を入れる

②（電源 ON）ボタンを入れると、台ばかりが稼働します。



3. 重量を測定する

台秤の上に測定物を乗せると、重量が表示されます。「S: 重量が安定したことを告知する部位」に印が付くと、安定したことを示します。その時点で測定完了です。

（下図は85.2 kgで安定した状態です）



4. ゼロ設定機能を使う

物を乗せた状態で下図の⑦（ゼロ設定ボタン）を押すと、その状態で表示が0 k g となります。

- ・何かを計測した後で、荷物を降ろさずに続けて測定したい場合
- ・入れ物などの重さを除いた重さを測定したい場合

などに便利な機能です。



5. 指定の重量をあらかじめ差し引いて測定する（風袋引き設定）

指定の重量をあらかじめ差し引いて、測定を進めることができます。

「ケースの重量が20 k g」「パレットの重量が2 k g」など、測定したくないものの重量をあらかじめ差し引いて測定することが可能です。

手順1 ⑤（風袋引き設定ボタン）を押すと以下のような画面が表示されます。



手順2 ⑤（風袋引き設定ボタン）を押すたびに桁が移動します。
差し引く重量の桁まで移動したら、⑥（上ボタン）を押して重量を設定します。

下の例では、30kgと設定しています。



手順3 ⑦（ゼロ設定ボタン）を押すと設定完了です

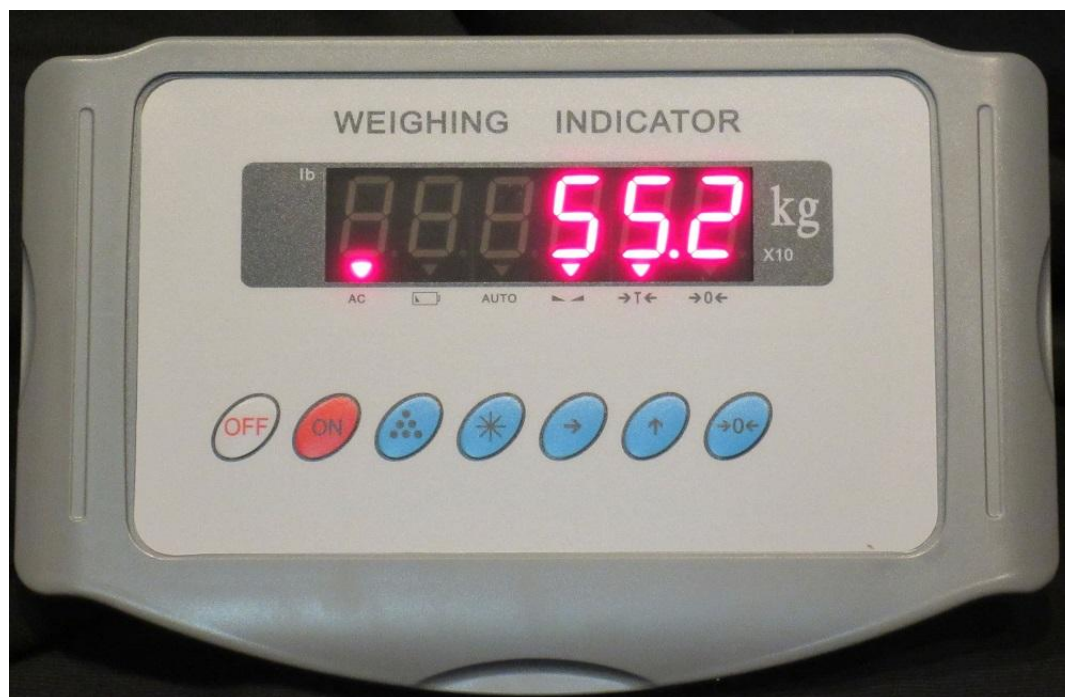


手順4 「－〇〇k g」と表示されていることを確認し、測定する

下の写真では、ケースの重さが30k gと設定しておりますので、設定が完了した時点で、液晶には「－30k g」と表示されています。



実際には85、2k gのものを測定したところ、55、2k gと表示されています。



6. 累積の重量を表示する機能

この台秤では、こちらが対象とする測定物のみの重量を累計できます。（累計登録可能は4 kg の物です。）
自動で累計の測定とならないので、対象としない測定物は、累計に入りません。

「累計している途中に、1 点だけ測定したい」という場合も非常に便利です。

ここでは、例として65、8 kg の測定物を2回測定し、累計に登録します。

手順1 「累計に含めたい測定物」を載せているときに、下の写真のように、③（累計登録ボタン）を押してください。これで、「累計する測定物」として登録ができます。



「n 1」という表示が出ます。これで累計への登録が完了です。
n の後の数値は、「いくつの測定物を累計に登録したか」ということを示しています。



「測定物を置く」 → 「③（累計登録ボタン）を押す」という手順を繰り返すと、指定した測定物が累計のデータベースに登録されます。

累計登録ボタンを押さなければ、累計の対象にはなりません。

さて、65、8 kg の測定物を2回測定した後に、累計の重さを確認いたしましょう。

手順2 累計回数および重さの確認

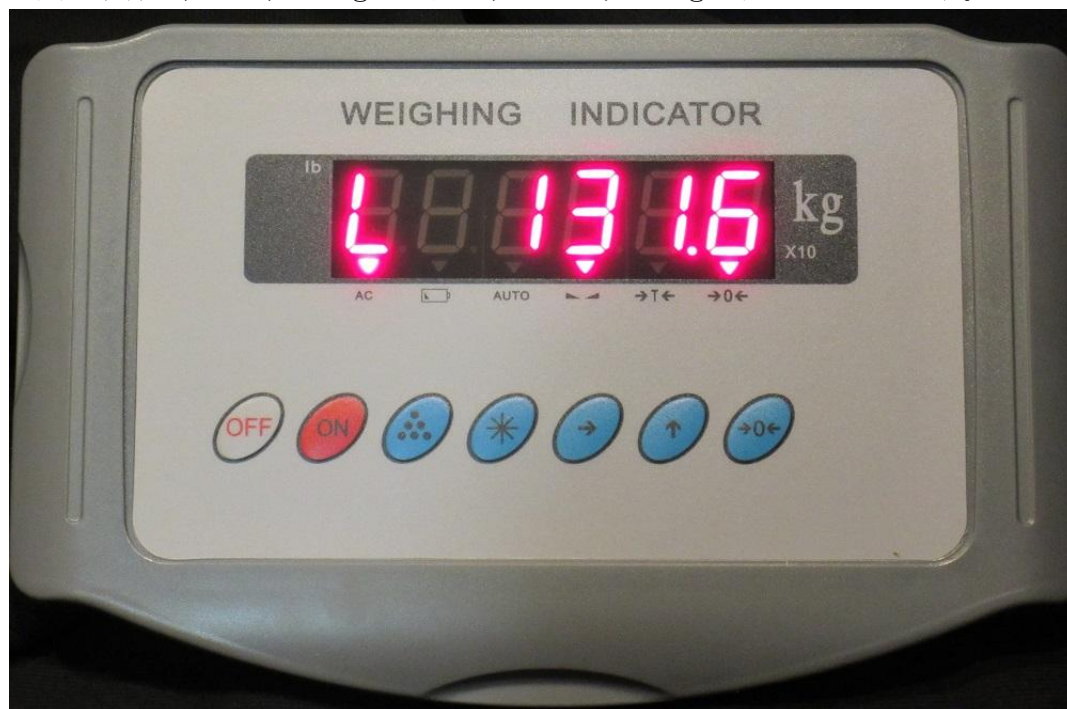
④（累計確認ボタン）を押すと、まずは累計回数が表示されます。

今回の例では、65、8 kg の測定物を2回累計登録していますので、「n 2」と表示されています。



⑥（上ボタン）を2回押すと、「Lの文字の横に」累計の数値が表示されます。

写真の場合は、65、8 kg × 2回で、131、6 kg と表示されています。



手順3 累計のリセット

④（累計確認ボタン）を押して、「n」が表示されている状態で⑦（ゼロ設定ボタン）を押すと、累計登録されたデータは、全て0に戻ります。
累計回数も、累計重量もリセットされます。



7. 重さのリセット

何も載せていない状態で、⑦（ゼロ設定ボタン）を押すと重さが0にリセットされます。
新規の状態へと戻ります。

8. 自動省エネモード

3分間動作が無い場合は省エネモードへと移行します。
また、30分以上動作がなければ自動的に電源が切れる設定になっております。
仮に電源を切り忘れた場合でも、省エネとなり、安心してご活用いただけます。

9. 使用上の注意に関して

- ・メーターの使用寿命を保証するため、直射日光・高温多湿を避け、平らな場所に保存して下さい。
- ・粉塵の多い場所、または振動のひどい場所に置いて使わないでください。
- ・TAREの重量を含めて定額測定重量より超えて測定しないでください。
- ・強い溶剤（例えば：ベンゼン、硝酸油類）を使って秤台などを洗浄しないでください。
- ・電子部品が壊れたり感電したりする恐れがありますので、メーター内に水を入れないで下さい。